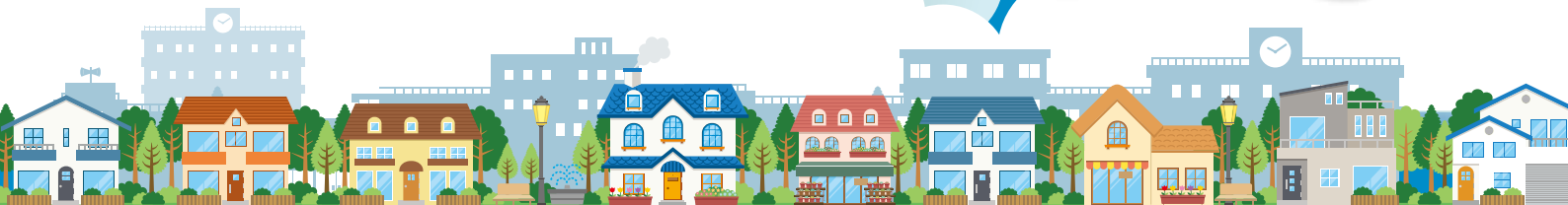


緑が丘まち協

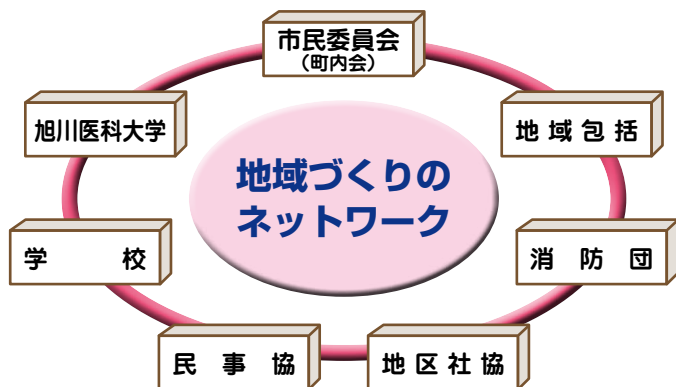
令和3年度
広報



令和4年3月発行／発行者：緑が丘まち協広報誌編集委員会／緑が丘まちづくり推進協議会事務局：旭川市神楽支所

緑が丘まちづくり推進協議会は

様々な団体が、地域課題や解決策について意見交換を行っています。



令和3年度 委員紹介

会長	石塚英俱 (緑が丘地区市民委員会)
副会長	菊池安吉 (西御料地地区市民委員会)
委員	池田昭夫 (緑が丘東地区市民委員会)
	石井秀幸 (神楽岡東地区市民委員会)
	井戸川みどり (旭川医科大学)
	今井敦 (神楽・西神楽地域包括支援センター)
	大瀧政尚 (旭神市民委員会)
	河原萌香 (公募委員)
	久保安司 (旭川市消防団)
	佐藤聖士 (緑が丘地区小・中学校長会)
	武田英夫 (公募委員)
	筒井弘子 (神楽岡東地区社会福祉協議会)
	干場正憲 (緑が丘地区民生委員児童委員協議会)
	森好和 (公募委員)
	山脇兼治 (緑が丘地区社会福祉協議会)



緑が丘まちづくり推進協議会
会長 石塚英俱

ごあいさつ

コロナウイルスの猛威がなかなか収まらない中での令和4年を迎えましたが、緑が丘地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。正常な日常までは今しばらくかかりますが、皆様が元気にこの危機を乗り越えられますことを切に望んでおります。

緑が丘まちづくり推進協議会も、令和3年度は皆様のご協力によりまして、計画しておりました全ての事業を無事終えることができました。ありがとうございます。皆様が令和4年度も心置きなく活動できることを切に願っております。

また、緑が丘まちづくり推進協議会も地域の皆様により良い生活に役立つ活動ができるように努力してまいります。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

地域の課題への取組

地域の課題

さまざまな心配事や生活上の困りごとについて、どこに相談したらよいか分からず、不安や不便な思いを抱えている方々がいる。

まち協での協議

地域住民のさまざまな心配事の解消につながる情報発信を行い、地域福祉の充実・強化を図る。

今年度の取組

各種困りごとに関する相談窓口と福祉サービスの情報を掲載したリーフレットを作成し、緑が丘地域に全戸配布する。

(令和3年度協議内容の一部要旨)



議事録は市のホームページに掲載しています。

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063395.html>





今年度開催したまち協事業を紹介します



緑が丘地区 防災事業

～今年度からの新規事業～

日頃から災害予防の意識を高め、地域の防災力向上のための取組を通して安全・安心に過ごすことのできるまちづくり・地域づくりを目指していくため実施することにしました。

・ 防災リーダー研修会

日時 ▶ 令和3年10月31日 日
午前9時～午後0時

会場 ▶ 緑が丘地域活動センターグリーンパル

防災講習会

「避難所を設営しながら避難所を体験しよう！」
避難所で使用する段ボールベッドや簡易トイレの組立を行ったり、非常食のアルファ米の試食などを行いました。

基調講演

「知ってますか？」

避難の考え方と避難情報が変わりました！」

講師：旭川市防災安全部防災課 課長補佐 石川秀世氏



段ボールベッド組立



簡易トイレ組立



非常食試食

・ 遊んで学ぶ！防災キッズ

日時 ▶ 令和3年12月19日 日
午前9時～午後0時

会場 ▶ 緑が丘地域活動センターグリーンパル

旭川医科大学の学生さんたちのサポートを受けながら、段ボールベッドや簡易トイレの組立を行ったり、防災かるたや防災クイズ、地域の防災マップづくりなど、遊びを通して楽しみながら防災について学びました。



みんなで協力♪



思ったより頑丈！



これがトイレになるのか～



「か」の札あった！！



わかった！はい♪



わたしの家の避難経路は？



緑が丘地域にある施設や
歴史について紹介します

地域について、もっと知りたい！



リサーチパーク探訪



Q1 リサーチパーク内にあるこちらの
建物。施設名わかりますか？

A1 地方独立行政法人 建築研究本部
北海道立総合研究機構 建築性能試験センター
(通称：道総研) 北方建築総合研究所
緑が丘東1条3丁目1-20 ☎(0166) 66-4211

道総研は、道内に21の拠点があります。
「林産試験場(旭川市)」や「上川農業試験
場(比布町)」なども、道総研の組織です。

Q2 何を研究しているの？

A2 50年後の北海道を見据えて、建築・まちづくりに
関して研究しています。

Q3 見学はできるの？

A3 見学はできますが、事前予約が必要です。
詳しくはホームページ (<https://www.hro.or.jp/>)
をご覧ください。

Q4 地域との関わりはあるのかな？

A4 **事例1**
施設見学のほか、一般市民を対象に建築やまちづくりに親しんでもらう
一般公開デーを毎年開催しています。
研究所内の「探検ツアー」、「サラダ油でロウソクづくり」などの防災関
連コーナー、「暑さ寒さ体験」などの省エネ関連コーナー、建物の強さ
体験コーナーやバリアフリー体験コーナーなどもあります。
機会があればぜひご来場ください。



防耐火実験の様子



一般公開デーの様子

事例2

市内の近文地区で、安心安全まちづくりとして、町内会やPTAのみなさんと一緒に、実際に小学
生が危険な目に遭った交差点などを調べ、そこに重点的にボランティアの方が立つようにアドバイ
スしました。また、町内会の人と小学生がお互いの顔と名前がわかるようなイベントを実施し、い
ざという時に頼れる関係を築く工夫をするなどの活動を、専門家として支援をさせていただいたこ
ともあります。

事例3

上川管内のある自治体では、住民のみなさんそれぞれのチャレンジしたいことや得意なことを地域
のために役立てる活動を始めていますが、私どもは、まちの居場所づくりやワークショップの運営
支援などを行っています。
また、道内の集落において、持続的に地域に住み続けるための住民のみなさんの活動を支援するな
ど地域に深くかかわっています。



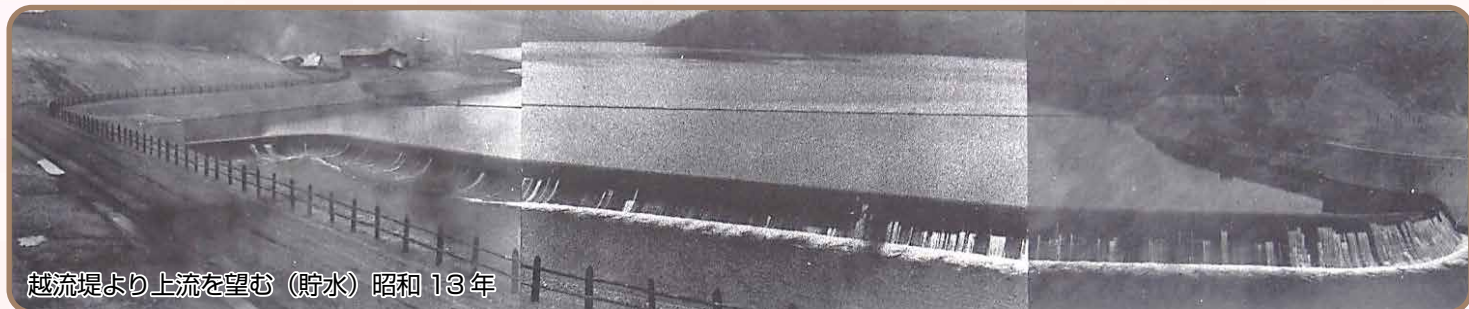
緑が丘地域にある施設や
歴史について紹介します

地域について、もっと知りたい！



誇るべき聖台ダム

ダム全景（完成）



越流堤より上流を望む（貯水）昭和 13 年

—聖台ダム—写真集（旭川開発建設部）より

JR 富良野線と並行する国道 237 号線を旭川から富良野方面へ南下していくと、“西御料”・“西瑞穂”・“西神楽”・“西聖和”・“千代ヶ岡”の駅名が見えます。

千代ヶ岡を過ぎ^{へっ}辺別川を渡り、美瑛町下宇莫別で天人峡方向へ左折。またすぐに左折し 4 km も走ると、右側に大雪山連峰麓の美瑛町美瑛川支々流宇莫別川を堰き止め水田の灌漑を目的とした『聖台ダム』が見えてきます。

灌漑水路は、東神楽町・旭川空港・旭川医科大学・緑が丘・神楽岡と高台に敷設され、その長さは上川神社辺りまで！現在確認できるのは南校辺りまでとなっています。



長く延びた灌漑水路



旭川医科大学建設前の風景(昭和 46 年頃)

この高台は畑作には不適な重粘度地帯であり、地下 10m 以下は凝灰岩の軟盤で地下水深く（約 30m）、飲料水の確保もままならぬ地帯であるため水田ということに……

御料地払い下げから、水利組合・小作争議・土功組合等の紆余曲折を経て、1932 年（昭 7）着手、1937 年（昭 12）竣工と 5 年の歳月をかけ、蒸気機関・ディーゼル機関の大型転圧機械をアメリカ・ドイツから輸入し、建設作業員延べ 10 万人動員、道内外でも最大級の工事と記録されています。

ともあれ、竣工当時とほとんど変わらない形と機能を残し、そのままの使われ方をしている希有なダムは、水田の歴史が浅い北海道でもあまり例がなく、それだけ築造当時の設計が優れ、施行も細心・入念で、さらによく行き届いた維持管理が行われた故でしょう。

現在は「ダム湖百選」に選定され、「聖台ダム公園」として桜やカタクリの花が鑑賞できるスポットとしても人気があり、水辺やダム放水路の両側に咲き誇る様子が楽しめます。なお、「聖台」の由来は、御料地一帯の高台が払い下げ、大御心への感謝の気持ちを込めてこの台地を「聖台」と名付けたとされています。

健康長寿と ロコモティブシンドローム



ロコモティブシンドロームとは
骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えることで、要介護になる危険性の高い状態



講義

『ロコモティブシンドロームについて』

講師

旭川医科大学病院リハビリテーション部
理学療法士 高山拓也 氏

ロコモティブシンドロームの基礎知識や、栄養と運動の重要性について、分かりやすくお話いただきました。



日時 令和3年11月14日 日

午前の部 9時30分～11時30分

午後の部 1時30分～3時30分

会場 緑新小学校

ロコモ度テスト (立ち上がりテスト・2ステップテスト)
判定ツールを使って、参加者のロコモ度チェックを行いました。



健康チェック

(健康相談、血圧測定、体組成測定)



予防運動“ロコトレ”

自宅でも実施できる簡単なトレーニングを教わり、実践しました。



旭川医科大学主催 健康セミナー 緑が丘わたしのみんなのげんき種 2021



旭川医科大学医学部看護学科では、住み慣れた地域で一人ひとりがより良い暮らしを送るためのケアや医療を提供できる看護職を目指し、講義・実習に取り組んでいます。

緑が丘まち協、地域住民の皆様には『地域包括ケア論』『地域包括ケア実習』の機会提供に協力していただき、健康セミナーを実施することができました。

日時 令和3年7月15日 木

午後2時～4時

会場 緑が丘地域活動センターグリーンパル

健康セミナーでは、参加者と学生がペアになり、健康チェックとしてInbody(筋肉量・体脂肪率等の体組成計測)、TUGテスト(歩行能力)、握力測定、血圧測定、語想起を行い、体操やクイズに全員で取り組みました。

また、グループワークでは生活や健康に関するインタビューを学生が参加者に実施し、緑が丘地区と参加者自身のげんき種(元気のもと)について意見交換を行い、充実した時間を過ごすことができました。





緑が丘地域の小学校における取組



数多くの教育機関が集積する文教地区・緑が丘。

地域にある3つの小学校が授業で取り組んでいる、子ども達が“地域を知る”きっかけともなる活動について、各校からお寄せいただいた内容をご紹介します。

緑が丘小学校



緑が丘小学校では、3年生の「総合的な学習の時間」に【商店街見学や商店街の人々との交流を通して、自分の生活と商店街の関わりを見つめ、自分なりの地域観を構築しようとする】という目的のもとで「緑が丘商店街」の見学を行いました。

見学先の皆様がとても温かく迎え入れてくださったり、丁寧に質問に回答して下さったりと、地域のことを知り興味をもつ貴重な機会になりました。

見学後には、お店や施設の工夫や魅力をまとめ、学年や地域に発信するための宣伝活動に取り組みました。

子どもたちは「緑が丘商店街は、私たちの自慢です。お店の人も優しいし、コロナにも気遣っているし、いいところがたくさんあります」とまとめていました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



緑新小学校



緑新小学校では、2年生の「生活科」で地域探検と働く方への理解を深めることを目的に、緑が丘地域活動センター「グリーンパル」の見学を行いました。学校からグリーンパルまでは徒歩で移動しました。遠足ほどの距離がありましたが、みんなで元気に歩きながら、自分たちの暮らす神楽岡・緑が丘地区の「秋」を体感しました。「グリーンパル」は、様々な世代の方が利用される大切な施設です。

児童は事前に学習したことをもとに「どんな部屋があって、どのように利用されているのか」「職員さんはどんなお仕事をされているのか」についても質問しました。当日は多目的ホールで卓球、大会議室ではヨガのサークルが活動されていました。

学習のまとめは、GIGA スクール構想の一人一台タブレットの「スライド」というアプリで各々作成しました。今後も、3年生の社会科や総合的な学習の時間に向けて地域への学びを繋げ広げていきます。

ご多用のところ懇切丁寧なご説明をいただきました職員の皆様に心より感謝申し上げます。



西御料地小学校



西御料地小学校では、2年生の生活科において「町へ飛び出そう～町のじまん発表会」の学習を行い、校区内の商店や事業所のご協力をいただき、自分たちの暮らしを支える地域の方々の営みについて、見学や取材をさせていただきながら学習しています。

毎年のことですが、どの見学先でも懇切丁寧な対応で、見学後には子供たちのお礼状を店内に掲示していただくなど、地域の子供たちを地域で温かく育てているという風土が根付いていると感じます。

3年生の社会科では、「農家の仕事」の単元で地域の米づくり農家の方にご協力いただき、自然を生かしながらおいしいお米を作る人の営みや熱い思いを学習させていただきました。

子供が学び、育つ土台は地域にあります。今後とも末永く変わらぬご支援をお願いいたします。

